

型 番 AU55978・AU55979

お客様へ

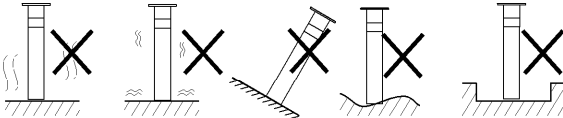
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	🚫 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
🚫 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	🚫 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。		このような場所には取付けないでください。 土壌のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。
	太陽電池パネルは短絡させないでください。 →火災・やけどの原因になります。		 湿気の多い場所 振動や衝撃の多い場所 傾斜のある場所 不安定な場所 冠水のおそれがある場所

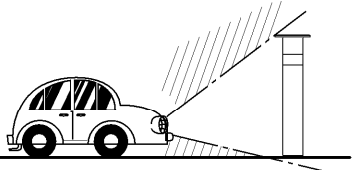
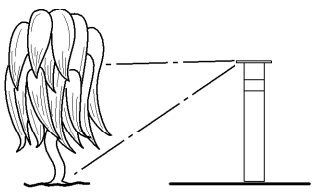
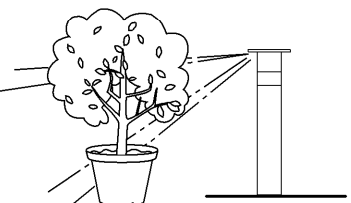
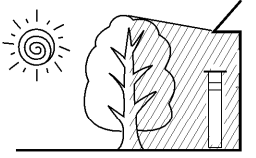
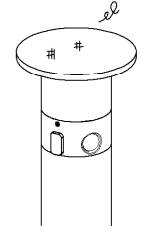
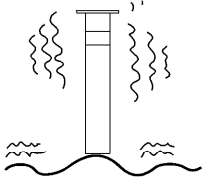
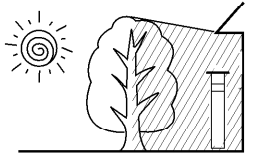
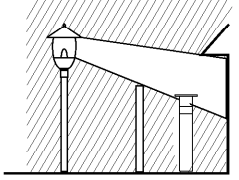
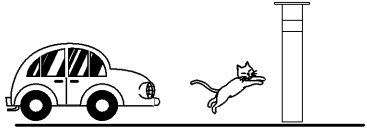
⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
🚫 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	⚠ 厳守	周囲温度40℃以上で使用しないでください。 →蓄電池の短寿命の原因になります。
	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。		蓄電池を分解しないでください。 →火災・感電・破裂・やけどの原因になります。
			当社指定の蓄電池以外を使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

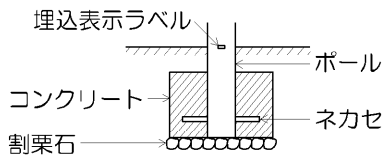
型 番	使用ランプ	蓄電池仕様	太陽電池パネル	動作
AU55978・AU55979	LED	リチウムイオン電池	単結晶シリコンパネル	5モード切替

■設置前の確認

- ・設置初期時は充電量が不十分な場合がございます。直射日光が良く当たる場所に設置すると充電が開始されます。
- ・ソーラーLED照明は太陽光をエネルギー源としています。
年間を通じて直射日光が良く当たる・日照時間が長い場所へ設置してください。
- ・十分な日照が得られない場所に設置されると、充電不足になり性能が十分に発揮されません。
- ・次のような場所には取付けないでください。充電不足や誤作動の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。 	風などでよくゆれる植物などがある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。 
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、充電不足となり、性能が十分に発揮できません。 	ソーラーパネルに泥など汚れが付きやすい場所には取付けないでください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。 
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは 気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にもセンサが反応し、点灯することがあります。 

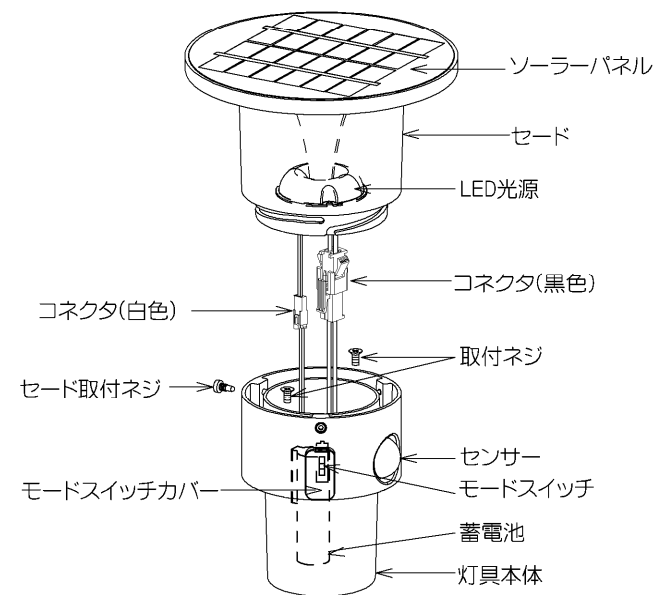
- ・ポール(別売)は土壌のしっかりした場所に設置する。
※砂地などの土質の柔らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどでポール(別売)の埋込部を固定してください。

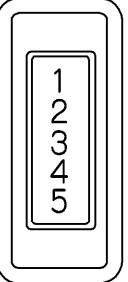


■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください(リニューアル対応時のみ)。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

■灯具本体
AU55978,AU55979

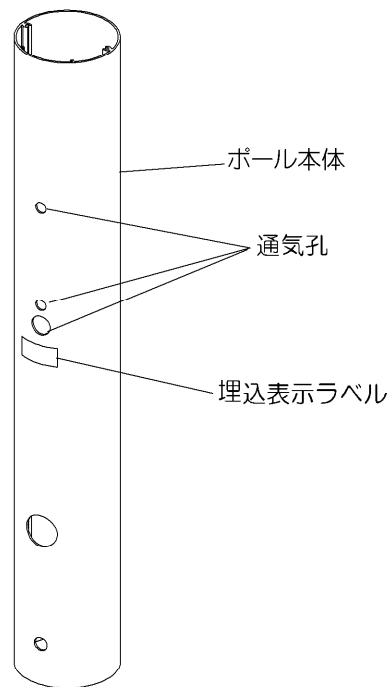


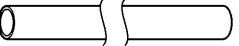
- ・センサモード
- 
- 1: OFFモード
 - 2: ほんのり点灯(10%)モード
 - 3: ほんのり点灯(30%)モード
 - 4: 人感センサ+ほんのり点灯(10%)点灯
 - 5: 人感センサモード

※詳しくはP.5～P.7の■センサの設定をご確認ください

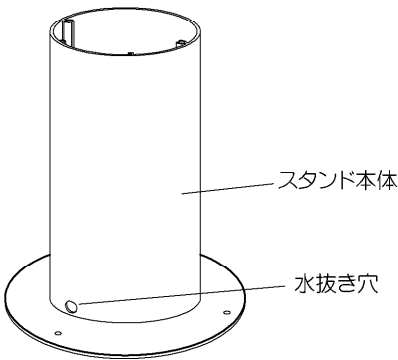
- 〈付属部品〉
-     取付ネジ・・・4本
 -  可動プレート・・・1枚
 -  六角レンチ・・・1本

■ポールタイプ
AE55980E～AE55983E(別売)



- 〈付属部品〉
-  ネカセ・・・1本
 -  ゴムワッシャ・・・2枚
 -   取付ネジ・・・2本

■スタンドタイプ
AE55984E,AE55985E(別売)

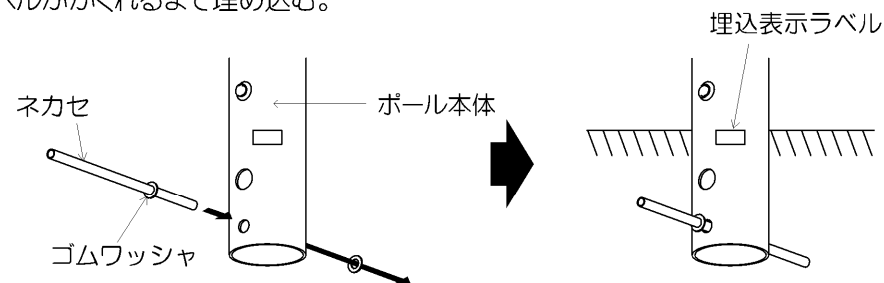


- 〈付属部品〉
-   取付ネジ・・・2本

1 別売部品を取付ける

〈ポールタイプ〉

- ①ネカセをポール本体に差し込んでゴムワッシャーで止める。
- ②埋込表示ラベルがかくれるまで埋め込む。



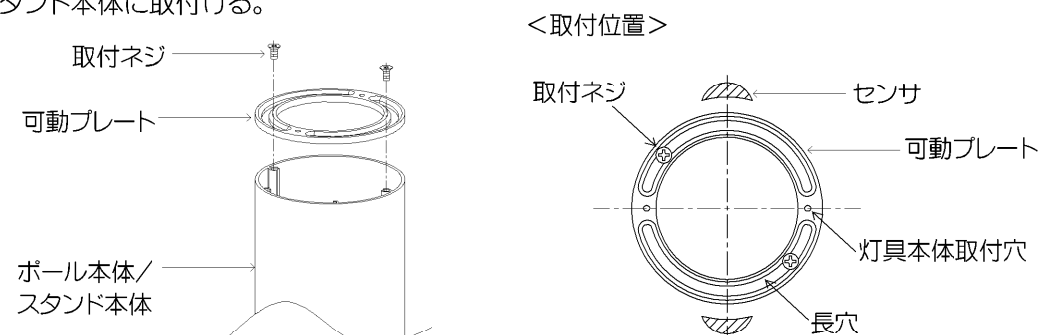
※スタンドタイプへの取付けに関しては、「2 可動プレートを取付ける」より施工を行なってください。

※一部製品にて灯具部分をリニューアル対応が可能。灯具部分を取外し、ポールだけの状態としてください。
スタンドタイプに関しても灯具部分を取外し、キャブダイヤケーブルも取外してください。

△警告 器具内の電源線は不要ですので、電源線へ絶縁処理を確実に行ってください。

2 可動プレートを取付ける

灯具本体取付穴とセンサの位置を確認し、可動プレートの長穴を使い、可動プレートをポール本体およびスタンド本体に取付ける。

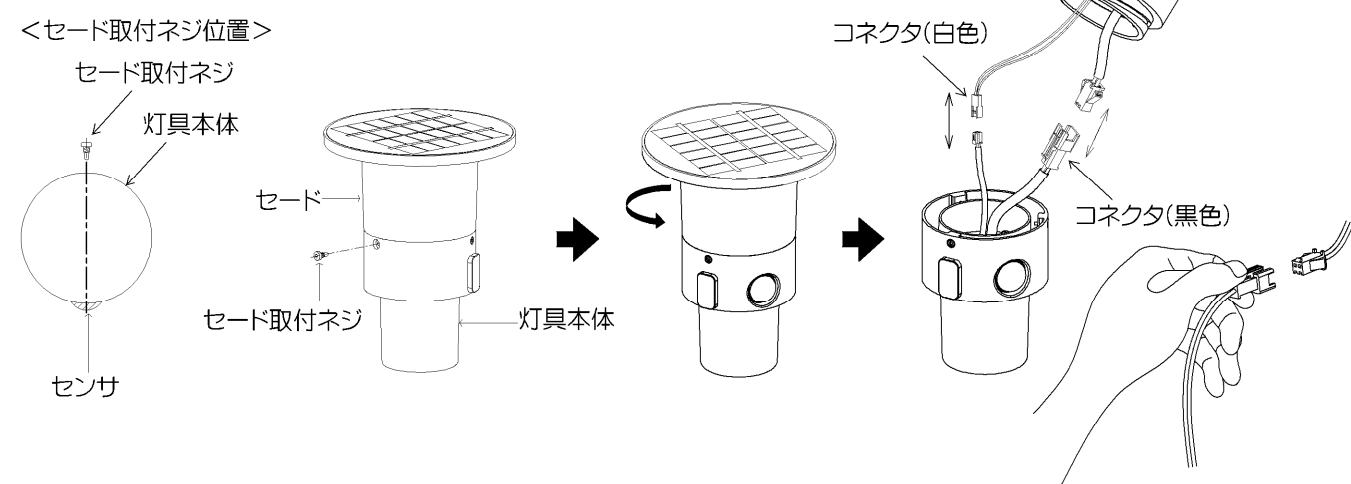


※可動プレートの取付け位置を変更することで、本体のセンサ位置を任意に調整することができます。
灯具本体取付穴に対して垂直にセンサが配置します。

3 セードと灯具本体を取外す

センサ背面にあるセード取付ネジを取外し、セードを矢印方向に回し、セードを取外す。
その後、接続されているコネクタ(白色)とコネクタ(黒色)を取外す。

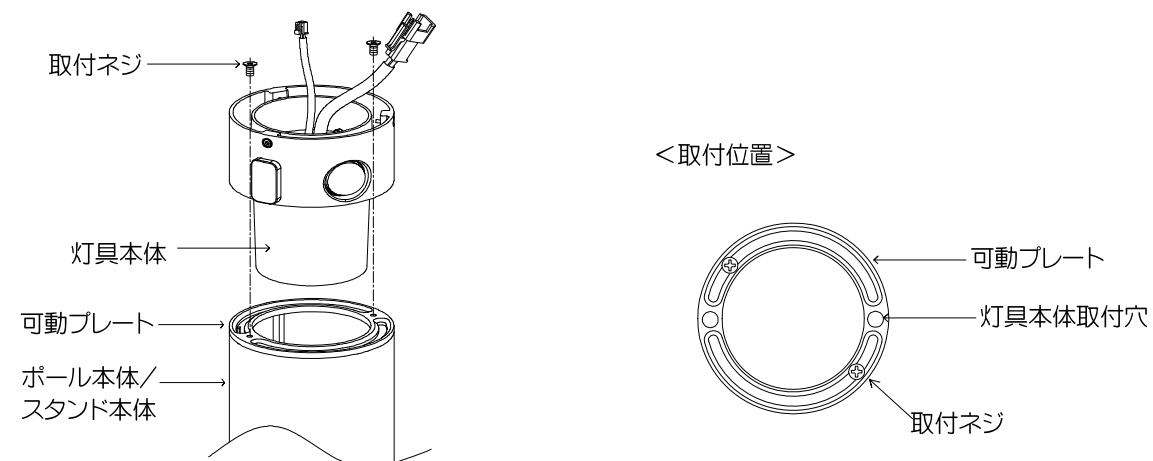
※セードを灯具本体から取外す際、ソーラーパネルを持って回さないでください。



※コネクタを無理やり引張らないでください。はずす時はつまみを押さながら抜く。

4 灯具本体と可動プレートを取付ける

ポール本体およびスタンド本体へ取付けた可動プレートの灯具本体取付穴を使い、灯具本体を取付ける。



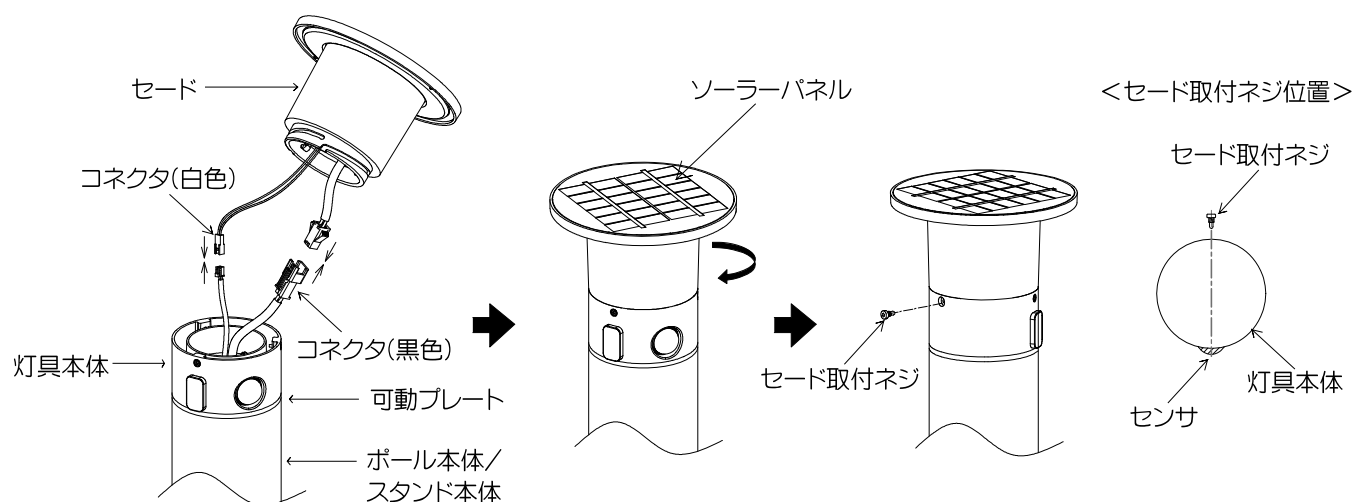
※灯具本体の取付位置を調整することでセンサ位置を調整することができます。

5 セードを灯具本体に取付ける

コネクタ(白色)とコネクタ(黒色)を接続させる。その後、セードを矢印方向へ回し、灯具本体に取付ける。

取付けた後、セード取付ネジを取付ける。

※セードを灯具本体へ取付ける際、ソーラーパネルを持って回さないでください。



6 点灯モードの設定

ご使用の環境に合わせて、点灯モードを設定してください。

7 点灯の確認を行なう

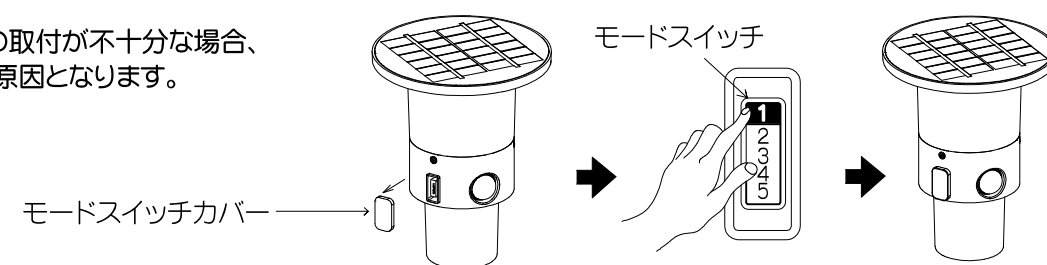
周囲環境が明るい場合は、点灯しません。ソーラーパネル部分を覆い、器具が作動することを確認してください。

※設置初期時は充電量が不十分な場合がございます。充電後、点灯確認を行なってください。

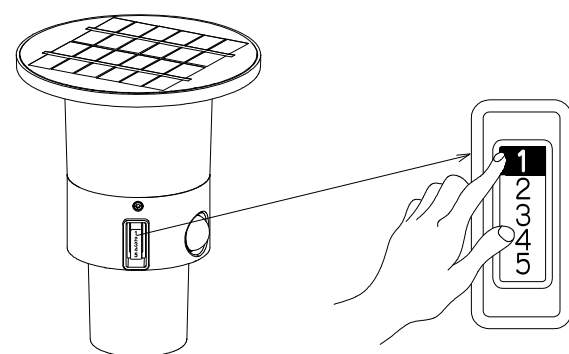
■センサの設定

モードスイッチカバーを取外してから、モードスイッチで動作を設定してください。
設定後は、モードスイッチカバーを確実に取付けてください。

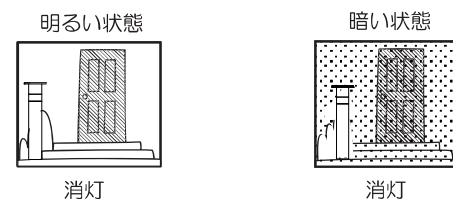
※モードスイッチカバーの取付が不十分な場合、水の侵入による故障の原因となります。



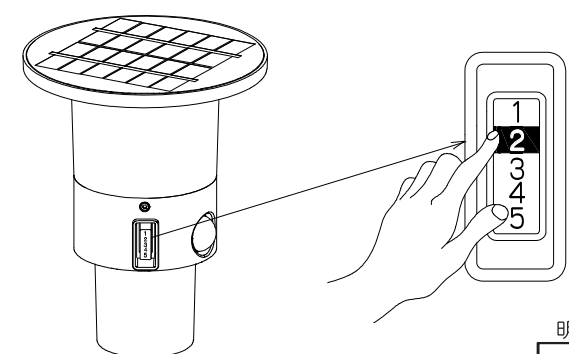
①OFFモード



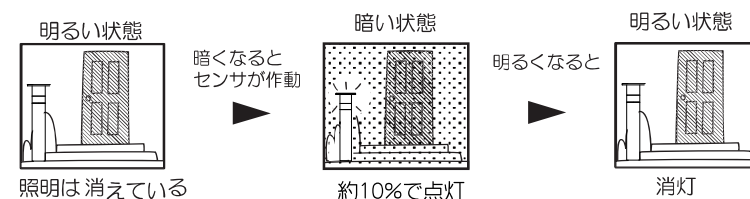
周囲環境に関わらず、器具は消灯
ただし、バッテリーの充電は可能
※初期モードとして設定しています。



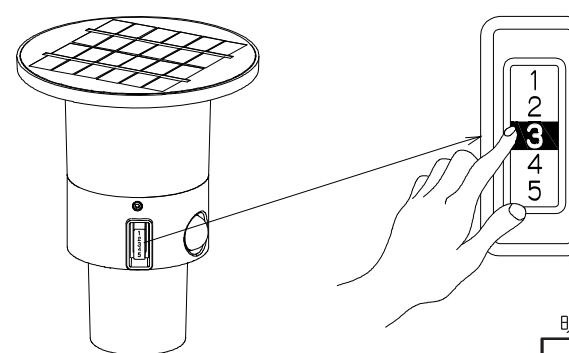
②ほんのり点灯(10%)モード



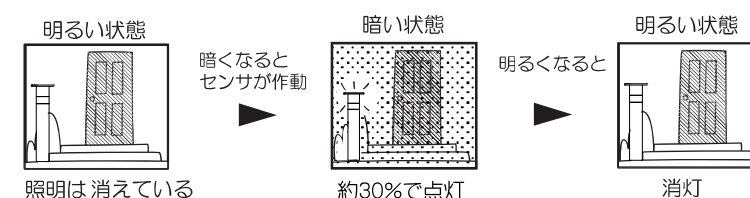
暗くなると約10%で自動点灯
バッテリーがフル充電時であれば、
約30時間使用可能。



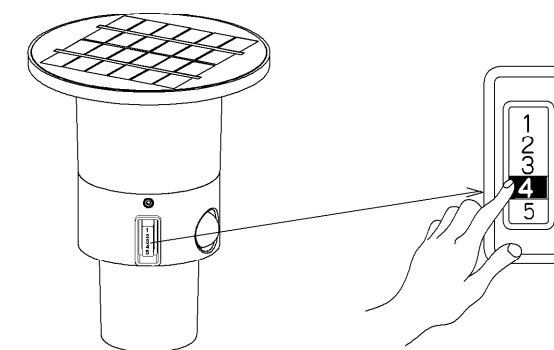
③ほんのり点灯(30%)モード



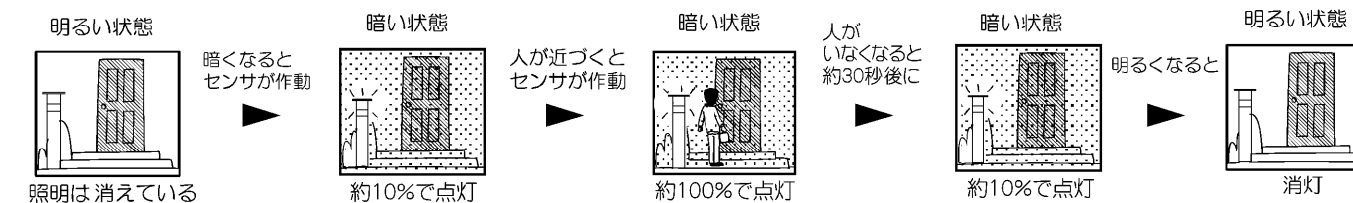
暗くなると約30%で自動点灯
バッテリーがフル充電時であれば、
約10時間使用可能。



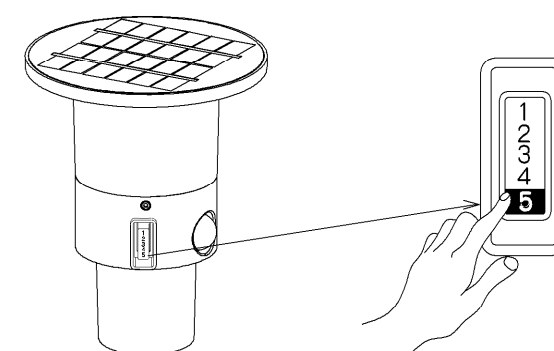
④人感センサ+ほんのり点灯(10%)モード



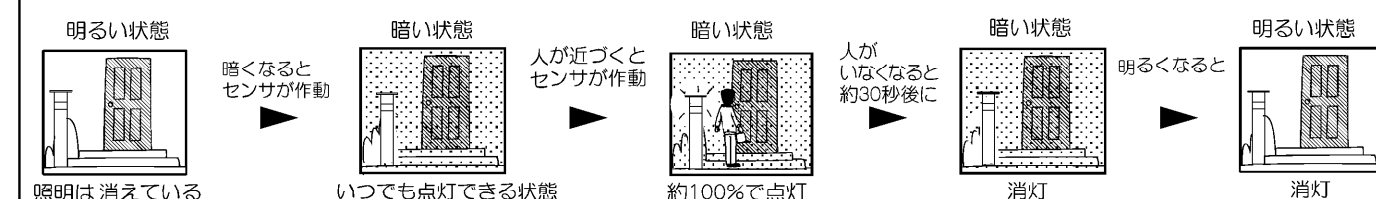
暗くなると約10%で自動点灯し、
その後は人が来た時だけ約100%で点灯
バッテリーがフル充電時であれば、
約25時間使用可能。



⑤人感センサモード

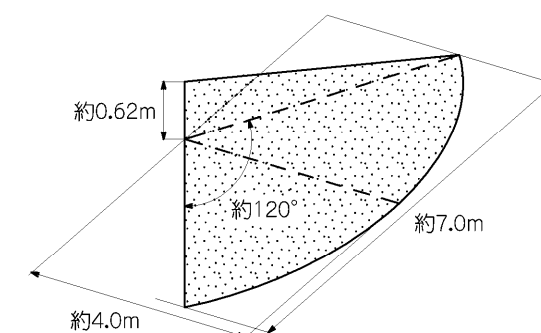


暗くなって人が来た時だけ約100%点灯
バッテリーがフル充電時であれば、
約380回の100%点灯・消灯の繰り返し
動作が可能。



■ 感知エリアについて

センサの動作確認と感知エリアの確認を行ってください。
※感知エリアは、気温、移動速度、進行方向、人の服装などにより変化
しますので、あくまで目安としてください。



※700mmタイプの場合

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、工事店・電器店、サービスセンターにご相談ください。

●センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

こんなとき	考えられる原因	処置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	センサの設定が④人感センサ+ほんのり点灯(10%)モード、⑤人感センサモード以外になっている	センサの設定が④人感センサ+ほんのり点灯(10%)モード、⑤人感センサモードとする
	周囲環境が明るい	光源を取り除く
	人が静止しているか動きが小さい	人が静止しているか動きが小さい状態では感知ができません
	蓄電池の容量が少ない	センサの設定を①OFFモードとし、充電を行なってください
感知エリアに人がいるのに点灯にくい	センサがよごれていたり蒸気などの水滴がついている	センサを柔らかい布で傷がつかないようにふきとる
	感知エリアが適切でないまたは、センサに向かって歩いている	センサの向きを調節する センサに向かっての動作は感知しにくくなります
	暑い日などで周囲温度と人体の温度差が少ない	温度変化を感知するため左記の場合感知しにくいことがあります(故障ではありません)
感知エリアに人がいるのに点灯にくい	感知エリア内に人以外の熱源がある (例)白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風邪などでよく揺れるもの (植木、カーテンなど) 犬や猫などの動物 ストーブなどの暖房器具	感知エリア内に人以外の熱源を取り除く 温度変化を感知するため左記の要因で感知エリア内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります(故障ではありません)
	センサの設定が②ほんのり点灯(10%)モード、③ほんのり点灯(30%)モードになっている	センサの設定を変更する (P.5～P.7の■センサの設定をご確認ください)
周囲が暗くなっても人を感知して点灯しない(消灯状態である)	センサの設定が①OFFモードとなっている	センサの設定を変更する (P.5～P.7の■センサの設定をご確認ください)
人がいなくなってもなかなか消灯しない	感知エリア内で人以外の熱源を感知し点灯時間が延長されている	感知エリアを調節する
	センサの設定が⑥人感センサモードとなっている	センサの設定を変更する (P.5～P.7の■センサの設定をご確認ください)

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラー)を操作した場合、誤動作することがあります。
- 器具の知覚や電場状況の弱い場所では音響製品に雑音が入ることがあります。
- 器具の設置直後は必ず充電を行なってください。
- 充放電を一定数繰り返すとバッテリーの性能が低下する恐れがあります。
- 蓄電池を破棄する場合、その地域の産業廃棄物処理手続きに従ってください。
- 蓄電池交換の際は、交換作業が必要となります。最寄りの営業所へお問い合わせください。

■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ソーラーパネルが汚れていると充電効率に悪影響を及ぼします。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
< 保証について > 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(中圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		<アフターサービスについて> 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎていたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※This warranty is valid only in Japan.
保証期間(お引き渡し日より) 本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球: 3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お買上年月日		
お客様様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	